富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

長野県白馬村親海湿原、姫川源流の水生蘚苔類

著者	坂井 奈緒子
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	34
ページ	7-10
発行年	2011-03-15
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=950

富山市科学博物館研究報告第34号，pp.7-10；(2011)

長野県白馬村親海湿原、姫川源流の水生蘚苔類*

坂井　奈緒子
富山市科学博物館
939-8084 富山市西中野町1-8-31

Aquatic bryophta of Oyomi moor and headstream of Himekawa River, Nagano Prefecture, central Japan

Naoko Sakai
Toyama Science Museum
1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama, 939-8084 Japan

I made an aquatic bryophyta survey in 2010. As the result of the survey, 17 taxa of mosses and 3 taxa of liverworts were recorded from Oyomi moor, 5 taxa of mosses and 2 taxa of liverworts were recorded from headstream of Himekawa River, Hakuba village, Nagano Prefecture, central Japan. I reported an aquatic bryophyte flora, together with an enumeration list.

Key words：bryophyta, Oyomi moor, Himekawa River, Nagano
キーワード：蘚苔類、親海湿原、姫川、白馬村、長野

2010年5月に長野県白馬村佐野にある親海湿原で，著者は一見サナダゴケ属 *Plagiothecium* の種のように見える水生蘚類やミズゴケ属 *Sphagnum* を見かけた。親海湿原入口の看板（長野県，白馬村）には，「長野県内唯一のホロムイソウ *Scheuchzeria palustris* の自生地」とあり，維管束植物の調査はされているようであったが，蘚苔類についての記述はなかった。親海湿原は白馬村文化財に指定されていることから，白馬村教育委員会に蘚苔類相について尋ねたところ，蘚苔類の調査はされていないとの返答であった。そこで，本湿原の蘚苔類相とその生育状況について，また隣接する姫川源流の水生蘚苔類についても調査をした。調査によってサナダゴケ属に似た水生蘚苔類はヤナギゴケ科 Amblystegiaceae ヤナギゴケ属 *Leptodictyum* のオニシメリゴケ *L. mizushimae* と判明し，坂井（2010）に報告した。本報告では，親海湿原と姫川源流の水生蘚苔類の生育状況について記す。

なお，調査は白馬村文化財の現状変更の許可を得て行った。お世話になった白馬村教育委員会に深く感謝申し上げます。

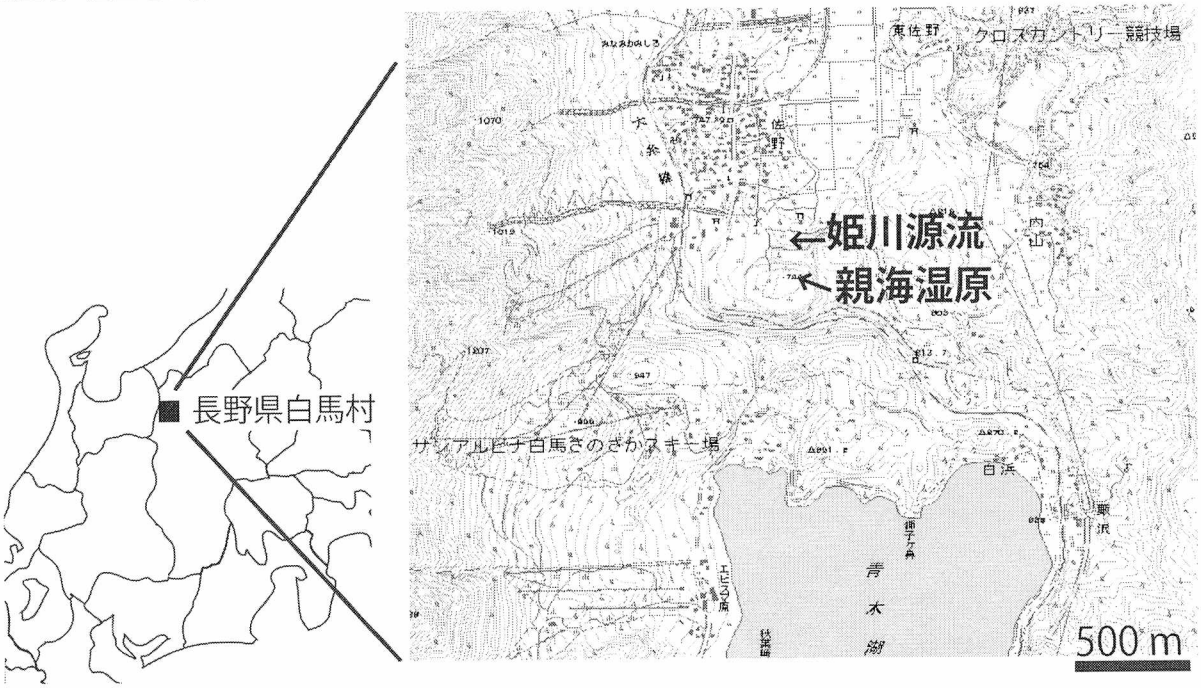
調査地と調査方法

調査地の長野県白馬村佐野親海湿原（北緯36°37′13″ 東経137°51′04″，標高約740m）と隣接する姫川源流（北緯36°37′23″ 東経137°51′05″，標高約740m）は，長野県自然環境保全地区および長野県白馬村文化財に指定され，木道や遊歩道が整備されている（図1）。

親海湿原入口の看板（長野県，白馬村）には「親海湿原はすり鉢状の平坦地形を成す，流出入する河川のない，隔絶した湿原です。東側のドウカク山斜面との境に湧水点を持ち，その源は青木湖のものではないかといわれているが，はっきりしていません。（後略）」と記されている。親海湿原を囲むようにある遊歩道を一周したところ，看板の記述のように湿原と山斜面との境の疎林内に湧水点からの小流あり，湿原に流入していた。親海湿原の植生は，雪解け直後の春はミツガシワ *Menyanthes trifoliata* が群生し，その後カキツバタ *Iris laevigata* やヤナギトラノオ *Lysimachia thyrsiflo*

＊富山市科学博物館研究業績第401号

図１　調査地（国土地理院の1/25000地図「神代」を使用）



ra，サワギキョウ *Lobelia sessilifolia*，サギスゲ *Eriophorum gracile* などの花が咲き，夏にはヨシ *Phragmites communis* に覆われる。湿原内のいくぶん水位の低い所にはカラコギカエデ *Acer ginnala* やレンゲツツジ *Rhododendron molle* subsp. *japonicum* などの木本が見られる。湿原周辺部は，林になっている。

姫川源流は，林内にある湧水口から始まり，田園を流れていく。長野県自然環境保全地区および長野県白馬村文化財に指定されている姫川源流は，林内の範囲である。

気象庁（2002）のメッシュ気候値によると，調査地の年平均気温は8.8 ℃，年降水量は1721.9 mm である。2010年6月14日に，親海湿原では湿原部と湧水口の小流に生育する蘚苔類の調査をし，姫川源流では水際や水中の蘚苔類調査を行った。種の同定のため，資料を持ち帰り，顕微鏡下で鑑定した。

結果と考察

親海湿原で蘚類9科17分類群，苔類3科3分類群，姫川源流で蘚類2科5分類群，苔類2科2分類群が確認された（親海湿原，姫川源流の蘚苔類一覧参照）。そのうち，親海湿原に生育するオニシメリゴケ *Leptodictyum mizushimae* は，環境省の絶滅危惧Ⅰ類（岩月ほか 2008）および長野県の絶滅危惧（長野県環境保全研究所ほか 2005）に，ミズゴケ属5分類群は長野県の絶滅危惧，オオミズゴケ *S. palustre* は環境省の準絶滅危惧に指定されている。オニシメリゴケについては坂井

写真
親海湿原の中央部の様子．調査日の6月には維管束植物にずいぶん覆われ、地表面に生育する水生蘚苔類は陰になっていた。

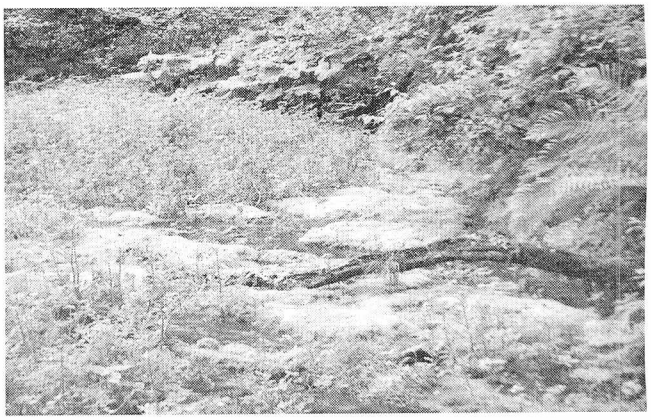


写真
姫川源流の緩やかな流れには、転石を中心にタニゴケが繁茂し、オランダガラシが砂礫部を覆っていた。

(2010) に報告されている。

親海湿原では，湿原の中央部で蘚苔類がよく生育していた。ミズゴケ属は5分類群が確認されたが，中でもオオミズゴケの生育量は多く，湿原中央部の一部ではオオミズゴケから成る高層湿原があった。オオミズゴケの次に生育量が多かったのはコサンカクミズゴケ *Sphagnum recurvum* var. *tenue* で，オオミズゴケとしばしば混生していた。シタミズゴケ *S. subsecundum* var. *junsaiense* は植物体が細く，他のミズゴケ属と混生して生えていた。鈴木 (1978) に「神城湿原，標高730*m*」のミズゴケ属の報告があるが，本調査地を指すと思われる。それにはアオモリミズゴケ *S. recurvum*，ハリミズゴケ *S. cuspidatum* シタミズゴケ，オオミズゴケ，イボミズゴケ *S. papillosum* の5分類群が報告されている。ハリミズゴケとイボミズゴケは，本研究では確認されなかったが，調査が不十分なためか現在は生育していないためかは分からない。

湿原にはその他，ヌマハリガネゴケ *Bryum weigelii*，ヤリノホゴケ *Calliergonella cuspidata*，タニゴケ *Brachythecium rivulare*，ホソバミズゼニゴケ *Pellia endiviifolia* などが見られた。これらはしばしば隣りあって生育していた。

蘚苔類は，高層湿原となり盛り上がっている部分を除くと，維管束植物の下に生育しており，雪解け後は明るい環境だが，ヨシが生育してくると被陰されると推測される。

親海湿原の湧水口からの流水中にはアオハイゴケ *Rynchostegium riparioides* が生育し，周辺の土上には，オオスギゴケ *Polytrichastrum formosum* やヤマトチョウチンゴケ *Plagiomnium japonicum*，フロウソウ *Climacium dendroides*，カモジゴケ *Dicranum scoparium*，コカヤゴケ *Rhynchostegium pallidifolium* などが生えていた。

姫川源流の水中や水際の転石上ではタニゴケが旺盛に繁茂し，次にフジウロコゴケ *Chiloscyphus polyanthos*，アオハイゴケがよく見られた。水際ではチョウチンゴケ科3分類群やタニゴケ，ジャゴケ *Conocephalum conicum* が生育していた。

親海湿原，姫川源流の蘚苔類一覧

科の配列は岩月 (2001) に従い，属名，種小名はアルファベット順に配した。学名は Iwatsuki (2004)，Yamada & Iwatsuki (2006) に従った。学名，和名に続き，標本登録番号を示した。絶滅危惧種については和名の後に付し，混生する種がある場合や特に記したい生育場所は括弧内〔〕に記した。採取者は著者だけなので省略した。標本はすべて富山市科学博物館植物標本庫（TOYA）に保管してある。

I 親海湿原の蘚苔類一覧

Bryopsida　蘚類

Sphagnaceae　ミズゴケ科

ミズゴケ属 *Sphagnum* は長野県の絶滅危惧に指定されている.

Sphagnum palustre L.　オオミズゴケ　環境省の準絶滅危惧　6194〔+コサンカクミズゴケ〕，6185〔湧水口の小流周辺〕.

Sphagnum recurvum P. Beauv.　アオモリミズゴケ　6188.

Sphagnum recurvum P. Beauv. var. *brevifolium* (Lindb.) Warnst.　サンカクミズゴケ　6187.

Sphagnum recurvum P. Beauv. var. *tenue* H. Klinggr.　コサンカクミズゴケ　6183，6194〔+オオミズゴケ〕.

Sphagnum subsecundum Nees var. *junsaiense* (Warnst.) H. A. Crum　シタミズゴケ　6177.

Polytrichaceae　スギゴケ科

Polytrichastrum formosum Hedw. G. L. Sm　オオスギゴケ　6335〔+オオシッポゴケ，湧水口の小流周辺〕.

Bryaceae　ハリガネゴケ科

Bryum weigelii Spreng.　ヌマハリガネゴケ　6340.

Mniaceae　チョウチンゴケ科

Plagiomnium japonicum (Lindb.) T. J. Kop.　ヤマトチョウチンゴケ　6336〔+トヤマシノブゴケ，湧水口の小流周辺〕.

Dicranaceae　シッポゴケ科

Dicranum nipponense Besch.　オオシッポゴケ　6335〔+オオスギゴケ，湧水口の小流周辺〕.

Dicranum scoparium Hedw.　カモジゴケ　6337〔湧水口の小流周辺〕.

Climaciaceae　コウヤノマンネングサ科

Climacium dendroides (Hedw.) F. Weber & Mohr　フロウソウ　6174〔湧水口の小流周辺〕.

Thuidiaceae　シノブゴケ科

Thuidium kanedae Sakurai　トヤマシノブゴケ　6336

〔+ヤマトチョウチンゴケ，湧水口の小流周辺〕

Amblystegiaceae　ヤナギゴケ科

Calliergonella cuspidata (Hedw.) Loeske　ヤリノホゴケ　6178.

Leptodictyum mizushimae (Sakurai) Kanda　オニシメリゴケ　環境省の絶滅危惧Ⅰ類，長野県の絶滅危惧. 6203.

Brachytheciaceae アオギヌゴケ科

Brachythecium rivulare Bruch & Schimp.　タニゴケ　6190, 6175　〔湧水口の小流周辺〕.

Rhynchostegium pallidifolium (Mitt.) A. Jaeger　コカヤゴケ　6232　〔湧水口の小流周辺〕.

Rynchostegium riparioides (Hedw.) Cardot　アオハイゴケ　6201　〔湧水口の小流中〕.

Hepaticopsida　苔類

Conocephalaceae ジャゴケ科

Conocephalum conicum (L.) Dumort.　ジャゴケ　6207　〔+タニゴケ〕.

Marchantiaceae ゼニゴケ科

Marchantia polymorpha L.　ゼニゴケ　6211.

Pelliaceae ミズゼニゴケ科

Pellia endiviifolia (Dicks.) Dumort.　ホソバミズゼニゴケ　6210, 6209　〔湧水口の小流周辺〕.

Ⅱ 姫川源流の蘚苔類一覧

Bryopsida　蘚類

Mniaceae　チョウチンゴケ科

Mnium lycopodioides (Hook.) Schwägr. ナメリチョウチンゴケ　6339　〔湧水口の小流、中湿〕.

Plagiomnium cuspidatum (Hedw.) T. J. Kop.　ツボゴケ　6338.

Plagiomnium vesicatum (Besch.) T. J. Kop.　オオバチョウチンゴケ　6341.

Brachytheciaceae　アオギヌゴケ科

Brachythecium rivulare Bruch & Schimp.　タニゴケ　6179.

Rynchostegium riparioides (Hedw.) Cardot　アオハイゴケ　6212.

Hepaticopsida　苔類

Geocalycaceae　ウロコゴケ科

Chiloscyphus polyanthos (L.) Corda　フジウロコゴケ　6208.

Conocephalaceae　ジャゴケ科

Conocephalum conicum (L.) Dumort.　ジャゴケ　6205.

引用文献

岩月善之助（編），2001. 日本の野生植物 コケ. 355 pp., 192 pls. 平凡社，東京.

Iwatsuki, Z., 2004. New catalog of the mosses of Japan. J. Hattori Bot. Lab., 96: 1-182.

岩月善之助・古木達郎・神田啓史・長谷川二郎・樋口正信，2008. 蘚苔類レッドリスト2007年版. 蘚苔類研究，9: 259-267.

気象庁，2002. メッシュ気候値 CD-ROM. 気象業務センター，東京.

長野県環境保全研究所・長野県生活環境部環境自然保護課（編），2005. 長野県版レッドデータブック 非維管束植物編・植物群落編. 205 pp., pls. 長野県環境保全研究所，長野.

坂井奈緒子，2010. 長野県白馬村親海湿原で確認されたオニシメリゴケ. 蘚苔類研究 10(3):61-62.

鈴木兵二，1978. ミズゴケ類2種類以上の湿地湿原目録,吉岡邦二博士追悼植物生態論集: 234-245.

Yamada, K. and Iwatsuki, Z., 2006. Catalog of the hepatics of Japan. J. Hattori Bot. Lab., 99: 1-106.